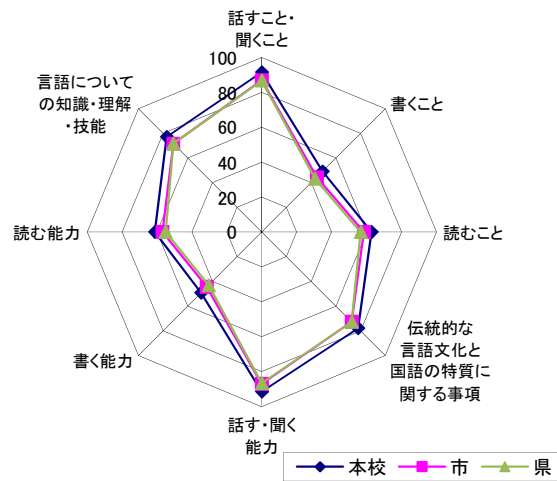


宇都宮市立今泉小学校 第4学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	話すこと・聞くこと	91.5	87.0	86.7
	書くこと	49.2	44.5	43.1
	読むこと	62.9	58.5	56.6
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	78.0	72.8	72.8
観点	話す・聞く能力	91.5	87.0	86.7
	書く能力	49.2	44.5	43.1
	読む能力	61.3	57.0	55.1
	言語についての知識・理解・技能	77.1	71.7	71.7



★指導の工夫と改善 ○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	○本校の平均正答率は市の平均を4.5ポイント、県の平均を4.8ポイント上回っている。設問別に見ると、話の中心に気を付けて聞く能力についての正答率が高い。	・互いの考えの共通点や相違点を整理して聞くために、聞き取ったことをメモしたり、聞き取れなかったところを的確に質問したりする活動をさせ、整理する方法を練習する場を設定していきたい。また、会話科との関連を図りながら、自分の考えが相手に伝わるように話す方法を繰り返し練習していきたい。
書くこと	○本校の平均正答率は市の平均を4.7ポイント、県の平均を6.1ポイント上回っている。設問別に見ると、報告書の構成を理解する能力や目的に応じて必要なことを調べて書く能力についての設問の正答率が高い。 ●書くこととすることの中心を明確にし、記述する能力について問う設問は県の平均正答率を上回っているものの、正答率が5割を下回っている。	・文章を書くとき、自分の伝えたいことを明確にできるように、様々な場面で、語彙力を増やす指導を行うとともに、自分の考えを書く場面を多く設定し、記述に慣れさせていきたい。
読むこと	○本校の平均正答率は市の平均を4.4ポイント、県の平均を6.3ポイント上回っている。設問別に見ると、文と文のつながりに注意して、文章を読む能力や目的や必要に応じて中心となる語や文をとらえる能力についての設問の正答率が高い。 ●叙述を基に、登場人物の気持ちを想像して読む能力を問う設問は、県の平均を上回っているものの、十分定着しているとは言えず課題がある。	・登場人物の気持ちを想像して読む能力を高めるため、日頃から音読や黙読に慣れさせると同時に、登場人物の言葉や行動の意味を考えさせる場を多く設定していきたい。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○本校の平均正答率は市や県の平均を5.2ポイント上回った。設問別に見ると、漢字の正答率が全体的に高い。	・単元ごとに既習漢字を振り返り、復習して確実に定着するよう支援をしていきたい。